

家康公ゆかりの流鏑馬

今回家ジョの2人が訪れたのは、東区有玉南町にある有玉神社です。

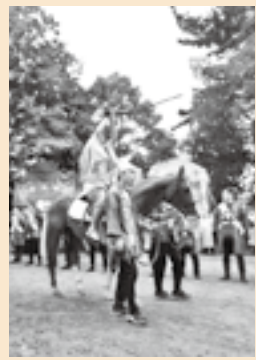
勝ち馬を奇進

秋の例大祭の流鏑馬で知られる有玉神社。およそ400年の歴史があるこの行事は、家康公が馬を奇進したことがきっかけで始まったと伝わっています。

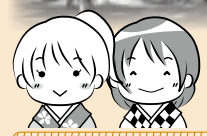
関ヶ原の戦いの後、家康公は征夷大將軍となり江戸幕府を開府。そして1615年、大坂(大阪)夏の陣で勝利を収めて江戸に戻る途中、自身の馬を八幡神社(現在の有玉神社)に奇進したといわれています。地域の人たちは家康公の勝利を祝し、例大祭で馬を走らせることで喜びを表現したそうです。

家康公になぞらえた「弓張りの儀」

馬上で矢を射る一般的な流鏑馬とは異なり、有玉神社の流鏑馬は馬上で弓を回し、その美しさを競うのが特徴です。



馬上で弓を回す「弓張りの儀」(今年の写真)



今回訪れた場所

有玉神社

東区有玉南町 1624-1
(遠州鉄道自動車学校前駅から徒歩8分。駐車場あり)

これは弓張りの儀と呼ばれ、家康公が三方ヶ原の戦いで逃げ帰る際の、敵の矢をかわす動きになぞらえたものだという話が地元には伝わっています。

江戸時代には、浜松城主が毎年、流鏑馬を見物に来たといわれているよ。

近年では、3人の射手が鳥居をくぐり弓張りの儀を行った後、馬から降りて拝殿前の的に矢を射ます。

地域で伝承されてきた行事

市は、市民に身近な無形民俗文化財として、有玉神社の流鏑馬を浜松地域遺産認定文化財に認定しています。

今年はいよいよ歴史上で初めて女性が射手を務めました。また、以前は射手が務めていた奉納相撲を、各地区から選ばれた小学生が行うなど、時代に合わせかたちを変えながら受け継がれています。

やり方を工夫しながら次の時代につなげているんだね



カーボンニュートラルへの挑戦 第8回 年末の大掃除で家電の省エネ性能を上げましょう



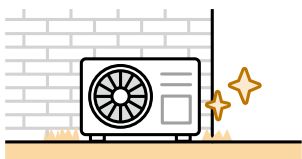
年末が近づくこの時期は、年に一度の大掃除をする家庭も多いのではないのでしょうか。今回は、家庭でできる

省エネの方法として、消費電力が大きく、節電効果の高い家電のお手入れのポイントを紹介します。

エアコン

熱交換をスムーズにしよう

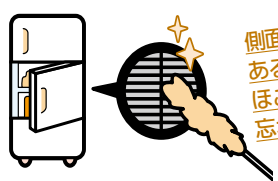
- 室内機のフィルターを定期的に掃除しましょう
節約 990円↓(節約)/年間
効果 15.6kg-CO₂※↓(削減)/年間
- 熱の出入り口での熱交換をよくするため、室外機の周りにもものを置かないようにしましょう。枯れ葉やクモの巣の除去も効果的です



冷蔵庫

庫内だけでなく外側もきれいに！

- 庫内を整理しましょう
節約 1,360円↓/年間
効果 21.4kg-CO₂↓/年間
- 壁から適切な間隔で設置して放熱スペースを確保しましょう
節約 1,400円↓/年間
効果 22.0kg-CO₂↓/年間



側面などにある通気口のほこりとりも忘れずに！

掃除機

部屋を片付けてから使って 時短&省エネ

掃除機は起動時に最も電力を消費するといわれています。オン・オフを繰り返さず短時間で使いましょう。フィルターや回転ブラシもきれいにし、吸引力を維持しましょう。

照明器具

ほこりを拭いて明るさを維持しよう
ランプやカバーのほこりを拭き取りましょう。油煙で汚れやすい台所の照明は念入りに掃除します。



一人一人のちょっとした行動で地球温暖化を防止しましょう！

家電を適切に手入れすることでエネルギー効率がよくなり、無理なく省エネできるだけだけでなく、家電の寿命を伸ばすことにもつながります。ぜひ上の点を気を付けながら掃除してみてください。

※ kg-CO₂ は二酸化炭素の排出量の単位です